

2020 年度

事 業 報 告 書

一般財団法人 北陸経済研究所

2020年度 事業報告

自 2020年4月 1日
至 2021年3月31日

1. 事業活動の概要

新型コロナウイルスの感染拡大に伴う経済活動の制限などにより、2020年の北陸地区の経済成長率は▲6.1%と大きく下落いたしました。特に飲食、宿泊、観光業の業績悪化は著しく、また製造業においてもサプライチェーンの混乱や世界的な需要減退により大きな影響を受けることとなりました。一方で、米中のいち早い経済回復やデジタル化の急速な進展により一部では業績が回復または好調に推移するなど、企業業績は二分される状況となっております。

当研究所では、各種統計やヒアリング、アンケートなどを通じて北陸経済の最新動向の把握に努めるとともに、テレワークやジョブ型雇用などの働き方の変化や、AI・DXを含めた生産性の向上、環境問題等をテーマとした調査を行いました。また、企業のIoT化推進に向けたプラットフォームとしての活動、地方創生のための施策立案に資する各種受託調査、企業の人材育成ニーズにお応えするセミナー事業、役職員による講演・講義などを実施いたしました。

当研究所の働き方につきましても、テレワークの実施や各種業務のデジタル化を進め、各種セミナーをオンライン開催とするなど、感染拡大防止と生産性の向上を図ってまいりました。

以下、事業内容につきましてご報告いたします。

2. 研究所の体制

(1) 当研究所の職員数（出向者を含む・パートは除く）は、2021年3月末で12名となっております。（昨年度末比1名減）

	2021年3月末	前年度末比
シニア フェロー	0名	▲ 1名
特別研究員	1名	0名
部長	1名	0名
担当部長	1名	0名
総括研究員	1名	0名
主任研究員	4名	0名
研究員	2名	0名
事務局長	0名	0名
事務局員	2名	0名
合 計	12名	▲ 1名

(2) ご後援いただいている賛助会員の2021年3月末の状況は次のとおりです。

賛助会員数	新規	対2020年3月末比			賛助口数	対2020年3月末比		
		退会	増減	新規		退会	増減	
富山県	1,627	12	56	△44	1,979	11	66	△55
石川県	706	14	27	△13	799	14	27	△13
福井県	358	15	10	+5	398	15	10	+5
その他	38	2	4	△2	38	1	4	△3
合計	2,729	43	97	△54	3,214	41	107	△66

(参考) 購読会員は2021年3月末現在530先です。

(3) 基本財産は、一般財団法人への移行にあたり 10 百万円（大口定期預金）設定しました（2012年3月29日開催の理事会、評議員会決議による）。以後変動はありません。

(4) 2020年度は、研究所内の業務のデジタル化に取り組み、テレワークの実施、勤怠管理のデジタル化、各種申請書のペーパーレス化、編集会議などの各種会議・取材のオンライン化、セミナーのオンライン開催・IoT活用推進フォーラムでのオンラインワーキングの開催、各種業務の自動化・RPAの導入など、働き方改革や生産性の向上に努めました。

3. 調査研究事業

2020年度の自主調査研究においては、「北陸の四半期経済速報（北陸のQE推計）」、「北陸の産業天気図」、「経営者の景気見通し」など定例調査のほか、ロボット・AI導入に関する現状と課題、レジ袋削減の社会に与える影響などの環境問題、テレワークの導入や地方におけるジョブ型雇用などの働き方の変化、新型コロナに関する緊急アンケートの実施など、さまざまな分野にスポットをあてた調査を行いました。

このほか各大学などの研究シーズを紹介する「产学連携」コーナー、分析データを基にした「タイ経済最新情報」に加え、「トピックス・経営コーナー」では、コロナ禍における各種補助金・助成金などの緊急支援策をテーマとした内容を掲載いたしました。

また、北陸の各産業界で活躍するトップリーダーを紹介する「トップインタビュー」に加え、新春対談として元財務事務次官の佐藤慎一氏をお迎えし、「コロナ禍の中で考える安心できる社会をつくる処方箋とは」と題して、対談内容を掲載いたしました。

なお、調査・研究の具体的な内容は以下のとおりであります。

(1) 経済、産業、地域活性化に関する調査研究

掲載号	テーマ
5月号	北陸の産業天気図
	介護業界へのロボット・AI導入の期待と課題 ～ロボット・AIにより人手不足解消となるか～
7月号	レジ袋削減の流れは社会をどう変えていくか
8月号	北陸のQE（2019年度の北陸域内総生産推計）
	北陸のBSI（経営者の景気見通し）
9・10月号	テレワークの導入ステップと注意点
11月号	北陸の産業天気図
12月号	地方におけるジョブ型雇用の可能性（第1回） ジョブ型雇用とは
1月号	2020年度・2021年度 北陸の経済見通し
	新型コロナウイルスの影響に関する緊急アンケート
2月号	北陸のBSI（経営者の景気見通し）
	地方におけるジョブ型雇用の可能性（第2回） ジョブ型雇用導入にあたっての留意点

(2) トップインタビュー

掲載号	テーマ
6月号	百年かけて築き上げたコア技術で切断機市場をけん引する 「ものづくりの拠点は富山」と定め、トップシェア製品で世界の製造業を支える 津根精機株式会社 代表取締役社長 津根 良彦氏
9・10月号	精度の追求と独自の技術力により、 ベアリング組込み用ローラの世界トップシェアを目指す 株式会社東振精機 代表取締役社長 中村 俊介氏
12月号	あそびの環境をデザインすることで、未来価値を創造する 株式会社ジャクエツ 代表取締役 CEO 德本 達郎氏
3・4月号	パッケージや物流を通して世の中を笑顔にする サクラパックス株式会社 代表取締役社長 橋本 淳氏

(3) 新春対談

掲載号	テ　ー　マ
1月号	コロナ禍の中で考える安心できる社会をつくる処方箋とは 株式会社第一生命経済研究所 特別顧問（元財務事務次官）佐藤 慎一氏

(4) 企業経営に関する調査研究

<チャレンジ>

掲載号	企 業 名
5月号	杉政貿易株式会社（富山県富山市）
6月号	株式会社エス・エープランニング（石川県金沢市）
8月号	株式会社伊藤電機（福井県福井市）
9・10月号	株式会社石橋（富山県富山市）
11月号	株式会社農口尚彦研究所（石川県小松市）
12月号	株式会社メディカルジャパン（福井県福井市）
1月号	株式会社ロボテック（富山県砺波市）
2月号	株式会社エヌジェイシー（石川県金沢市）
3・4月号	株式会社秀峰（福井県福井市）

<企業紹介>

掲載号	企 業 名
5月号	株式会社野村塗装店（福井県福井市）
6月号	株式会社ナガエ（富山県高岡市）
8月号	桃宝食品株式会社（石川県小松市）
9・10月号	株式会社松屋R&D（福井県大野市）
11月号	イセ株式会社（富山県高岡市）
12月号	株式会社アーバンホーム（石川県金沢市）
1月号	株式会社オーシンM.L.P（福井県越前市）
2月号	株式会社カジメイク（富山県高岡市）
3・4月号	国立工芸館（東京国立近代美術館工芸館）（石川県金沢市）

(5) 受託調査

富山県をはじめとして各自治体、経済・産業の調査研究機関・団体などから次のとおり 12 件の調査を受託しました。

No.	受託先	事業名
1	内閣府（三菱 UFJ リサーチ＆コンサルティング）	景気ウォッチャー調査（北陸地域）
2	富山県	「立山黒部」世界ブランド化推進に向けた調査分析
3	富山県	こども向け屋内レクレーション施設に関する意識調査業務
4	富山県	職業能力開発ニーズ調査業務
5	富山県	「文化資源活用推進事業」による補助を受けて行う事業の経済波及効果分析調査
6	南砺市	南砺市文化芸術創造都市事業実施に伴う経済波及効果分析調査
7	富山市	市医療・介護資源把握調査業務
8	北陸経済連合会	第 5 次アクションプランの策定に係る助言・指導
9	野村総合研究所	北陸地域における地域特性、地域動向調査
10	富山市	横断歩道上のルール・マナーに関する市民意識調査
11	富山大学	地方圏における企業の採用戦略の変化に関する基礎調査
12	北陸経済連合会	観光産業の魅力の向上に向けた取組内容及びその方法に関する調査

4. コンサルティング・講師派遣・研修業務など

(1) コンサルティング

「経営相談」には日常的に対応し、実績は 44 件となりました。経済動向、業界動向などについて、担当職員が対応しました。

(2) 講師派遣

A. 講演講師派遣

賛助会員企業や団体、地方公共団体から講演講師の派遣依頼があり、役職員が積極的に出向きました。派遣回数は 6 回となりました。

また、銀行の支店・取引先親睦会が企画した経済講演会への講演講師の派遣を 2 回行いました。

講演テーマとしては、北陸の経済見通しや AI 関連、新型コロナ関連などのテーマがありました。

B. 研修講師派遣

富山大学、富山県立大学の講義において非常勤講師などの派遣依頼を受け、合計 13 回にわたり講師を務めました。

(3) 新春講演会の開催

開催日	演題	講師	参加者数
3月1日	不確実な時代の到来に向けて地域企業が取り組むべきデジタル戦略	富士通株式会社 理事首席エバンジエリスト 中山 五輪男氏	約 100 名

会場およびオンライン参加のハイブリッド型で開催いたしました。

(4) 北経研セミナー（ビジネスセミナー）の開催

新型コロナウイルス感染拡大の影響で 2020 年度は 16 講座を中止・延期いたしましたが、4 月には新入社員研修を「オンデマンド型」で、5 月からは「オンライン LIVE 型」、6 月からは感染防止対策を講じながら会場・オンライン併用の「ハイブリッド型」にて開催し、開催回数 59 回、受講者数も延べ 1,121 名となりました（2019 年度は 57 回 1,269 名）。

なお、オンラインでの開催率は全開催回数の 89.8%、オンラインでの受講率は全受講生の 67.6% にのぼっております。

No.	開催日	タイトル	場所	形式
1	4/15-7/15	新入社員研修オンデマンド	オンライン	オンデマンド
2	5月15日	簿記と経理の基礎知識	オンライン	LIVE
3	5月19日	5S の基本～導入・展開の進め方を学ぶ	オンライン	LIVE
4	5月26日	在庫管理の基本と実践	オンライン	LIVE
5	6月3日	採用から退職までの法律知識と労働法・労務管理の基礎知識	オンライン	LIVE
6	6月11日	営業アシスタントに期待される役割と基礎実務	オンライン	LIVE
7	6月12日	電話応対向上セミナー	オンライン	LIVE
8	6月15日	新入社員指導者研修	金沢	ハイブリッド
9	6月17日	中堅社員に求められる役割とスキル	金沢	ハイブリッド
10	6月18日	管理職の基本・基本	富山	ハイブリッド
11	6月23日	人事マネジメントの基礎セミナー	オンライン	LIVE
12	6月24日	AI 時代の「デジタル営業」強化セミナー	富山	ハイブリッド
13	7月2日	商談の基本を学ぶ	富山	ハイブリッド
14	7月7日	女性のための「3つの仕事力」向上セミナー	富山	ハイブリッド
15	7月9日	ムダに気づき、強い現場をつくる！改善推進リーダー養成	富山	ハイブリッド
16	7月13日	入門 決算書の読み方	金沢	ハイブリッド

No.	開催日	タイトル	場所	形式
17	7月14日	5Sで簡単！職場の整理整頓	金沢	ハイブリッド
18	7月16日	プレーイングマネージャーとしての部長・課長の役割と仕事術	富山	ハイブリッド
19	7月22日	取締役の責任と義務	オンライン	LIVE
20	7月28日	ものづくりの基本を身につける「生産部門の若手社員育成講座」	富山	会場
21	7月29日	新任営業担当者の「営業の基本」の基本セミナー	福井	会場
22	8月5日	気がきく総務・庶務・秘書スタッフのための基本実務講座	富山	ハイブリッド
23	8月18日	経営幹部経営企画部門のための経営企画力強化セミナー	富山	ハイブリッド
24	8月24日	オンライン時代の実践チームビルディング＆リーダーシップ研修	金沢	ハイブリッド
25	8月25日	仕事が速い人のタイムマネジメント術	オンライン	LIVE
26	8月26日	「部下指導力」「コミュニケーション力」を強化し現場を活性化する	富山	ハイブリット
27	9月1日	新入社員フォローアップ研修	富山	会場
28	9月2日	新入社員フォローアップ研修	金沢	会場
29	9月3日	新入社員フォローアップ研修	福井	会場
30	9月9日	中堅女性社員のためのスキルアップセミナー	金沢	ハイブリッド
31	9月10日	人事労務担当者が知っておくべき15のポイント	富山	ハイブリッド
32	10月6日	営業リーダーの実践スキル	金沢	ハイブリッド
33	10月8日	パワハラにならない部下の叱り方	オンライン	LIVE
34	10月13日	1日で学ぶ資金繰りの基礎実務	金沢	ハイブリッド
35	10月20日	ヒューマンエラー対策の進め方	オンライン	LIVE
36	10月22日	5つのマネジメントプロセス実践講座	富山	会場
37	10月28日	年末調整の基礎実務	オンライン	LIVE
38	10月29日	提案書・企画書作成の図解手法を学ぶ	オンライン	LIVE
39	11月5日	ロジカルシンキングの基本を学ぶ	金沢	ハイブリッド
40	11月11日	リーダーのための「5つの仕事力」強化セミナー	福井	ハイブリッド
41	11月17日	ビジネス文書徹底トレーニング	小松	ハイブリッド
42	11月18日	甘えを捨てよ！中堅社員	富山	ハイブリッド
43	11月19日	職場の人事諸問題にいかに対応するか	オンライン	LIVE
44	11月25日	上司のためのアド一流リーダー養成講座	金沢	ハイブリッド
45	11月26日	年度経営計画の立て方と業績管理・業績評価の進め方	富山	ハイブリッド
46	12月2日	女性リーダー管理者研修	オンライン	LIVE
47	12月3日	自社に合った教育体系の設計方法と運用法セミナー	オンライン	LIVE
48	12月8日	リーダーに期待したい部下育成。令和の人財育成術	金沢	ハイブリッド
49	12月10日	「報・連・相」徹底セミナー	富山	ハイブリット

No.	開催日	タイトル	場所	形式
50	1月15日	1日で学ぶ税金の基礎知識講座	富山	ハイブリッド
51	1月19日	成果を上げる問題解決力	オンライン	LIVE
52	1月22日	Withコロナ時代の技能伝承活動の基本セミナー	オンライン	LIVE
53	1月27日	「わかりやすく簡潔に話す技法」講座	オンライン	LIVE
54	2月15日	若手社員を自立型人材へと育てる！リーダーとしての導き方	富山	ハイブリッド
55	2月16日	営業するならこれだけは押さえたい	富山	ハイブリッド
56	2月24日	新人・後輩指導スキルとビジネスマナー徹底講座	富山	ハイブリッド
57	3月2日	プレゼンテーション研修	富山	ハイブリッド
58	3月9日	経営判断に不可欠な採算分析と業績管理	金沢	ハイブリッド
59	3月10日	新入社員指導担当者・先輩社員のためのOJT・メンター研修	金沢	ハイブリッド
		計 59講座		

(5) オーダーメイド研修（企業内研修）の受託状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響から開催中止が相次いだものの、オンライン開催も含め18回のオーダーメイド研修を実施。延べ349名の方に受講いただきました。

(6) IoT活用推進に向けての取り組み

～「IoT活用推進フォーラム」の活動について

① 概要

2017年5月に当研究所を事務局として、IoTに関する手法や先進企業の取組みなどを習得し、実証実験を実施することを目的とする「IoT活用推進フォーラム」を設立いたしました。

② 会員数

北陸三県企業37社（内、石川県4社、福井県1社）

内訳	<table border="0"> <tr> <td>正会員</td> <td>29社</td> </tr> <tr> <td>サポート会員</td> <td>7社</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>1社</td> </tr> </table>	正会員	29社	サポート会員	7社	賛助会員	1社
正会員	29社						
サポート会員	7社						
賛助会員	1社						

③ 活動報告

a) 2019年度総会開催

開催日：2020年6月19日（金）参加者：20社 26名

会場＋オンラインLIVE併用のハイブリッド型開催

b) セミナー等開催実績 7回（すべてオンラインまたはハイブリッドで実施）

開催日	内容	テーマと講師	参加者
5月18日	第1回 IoT 活用セミナー(ハイブリッド)	<p>【講演①】 「目的を見誤らない業務改善、ICT推進とRPAの導入」 株式会社アーケネクト 代表取締役 地村 未知弘氏</p> <p>【講演②】 「RPAを導入して当社はこう変わった！」 イセ株式会社 代表取締役社長 伊勢 豪範氏</p>	35社 58名
6月19日	第2回 IoT 活用セミナー(ハイブリッド)	<p>【講演①】 「ニューノーマルを実現するDX (デジタルトランスフォーメーション)最前線」 富士通株式会社 シニアエバンジェリスト 及川 洋光氏</p> <p>【講演②】 「IVIにおける5Gを活用したIoTの研究事例 (AVGシステムの開発)」 マツダ株式会社 技術本部車両技術部 車両先行技術Gr 主幹 奥屋 太志氏</p> <p>【講演③】 「CATV業界におけるローカル5G・IoTの現状と展望」 となみ衛星通信テレビ株式会社 専務取締役 宅見 公志氏/部長 浅谷 一寛氏</p> <p>「繊維製造業でのIoTを活用した生産性向上の可能性について」 ケーシーアイ・ワープニット株式会社 代表取締役 川田 常晶氏</p>	17社 26名
7月10日	第3回 IoT 活用セミナー(ハイブリッド)	<p>【講演①】 「Factory IoT導入への取り組みと導入事例 (どこにでもあるITとOTの“つながらない”をどう乗り越えるべきか)」 株式会社デソソーウェーブ IoT推進部企画室 室長 名波 知之氏</p> <p>【講演②】 「IoTを活用した生産革新活動と導入事例(IoT活用に不可欠なデザインシンキングの重要性について)」 ヨーセル株式会社 生産技術部 部長 朴木 範博氏</p>	18社 26名

開催日	内容	テーマと講師	参加者
10月30日	第4回 IoT 活用セミナー・ワーキング報告会(ハイブリッド)	<p>【Aチーム】 「段取り工数日報入力の簡素化」～自分達の手で作る IoT 株式会社タアフ 日合 二郎 氏</p> <p>【Bチーム】 「指示書番号とカゴ番号により工程管理・納期管理を実現」 ファインネクス株式会社 加藤 清人 氏</p> <p>【事例紹介】 「Web カメラと QR コードを使った作業実績収集」 北陸コンピュータ・サービス株式会社 上杉 弘 氏</p>	14社 16名
11月20日	第5回 IoT 活用セミナー(ハイブリッド)	<p>【講演①】「テレワーク・ワーケーションを支える ツール類とは」 株式会社金沢エンジニアリングシステムズ 小林 康博 氏</p> <p>【講演②】「朝日印刷株式会社の IoT の現状」 朝日印刷株式会社 加藤 義徳 氏 バニ 氏</p> <p>【講演③】「RFID 導入事例紹介」 東芝テック株式会社 坪井 勝則 氏</p>	16社 18名
1月28日	第6回 IoT 活用セミナー・ワーキング報告会(ハイブリッド)	<p>世界最高水準を誇る NEC の画像認識技術による DX 事例</p> <p>【講演①】「富山市顔認証システム社会実験の取り組み」 日本電気株式会社 高松 和寛氏</p> <p>【講演②】「画像処理ソリューションのご紹介」 NEC ソリューションイノベータ株式会社 宮田 拓哉 氏 加藤 裕紀 氏</p>	19社 27名
3月19日	第7回 IoT 活用セミナー(ハイブリッド)	AWS を活用した IoT センシングソリューション事例紹介 株式会社インテック 松下 智弘 氏 高安 剛 氏	12社 17名

c) WG (ワーキンググループ) 活動・・テーマ「工程の進捗管理の自動化」

開催日	内容	テーマ	参加者
7月27日	WG A チーム	ホワイトボードソフト Miro の操作実習	8社 9名
7月30日	WG B チーム	ホワイトボードソフト Miro の操作実習	8社 9名
8月17日	WG A チーム	「加工機の稼働状況と工程管理の見える化」	8社 9名
8月28日	WG B チーム	「指示書番号とカゴ番号を紐づけして工程管理・納期管理を実施」	9社 10名
9月16日	WG A チーム	「加工機の稼働状況と工程管理の見える化」	8社 9名

開催日	内容	テーマ	参加者
9月25日	WG Bチーム	「指示書番号とカゴ番号を紐づけして工程管理・納期管理を実施」	5社6名
10月21日	WG A+Bチーム	「多台持ち作業環境での顔認証による担当者の特定と作業実態(動線・作業時間)の把握」	11社14名
11月30日	WG A+Bチーム	「多台持ち作業環境での顔認証による担当者の特定と作業実態(動線・作業時間)の把握」…機械学習入門1	11社12名
1月21日	WG A+Bチーム	「多台持ち作業環境での顔認証による担当者の特定と作業実態(動線・作業時間)の把握」…機械学習入門2	10社11名
3月4日	WG A+Bチーム	「北陸経済研究所におけるRPAによる給与明細ペーパーレス化への取り組み」…Ui Path事例実習	12社14名

(7) 委員等への就任

当研究所の役職員は国の機関や富山県はじめ県内各自治体などからの要請により、合計12の委員会などに委員を委嘱され、合計22回の会議に出席し、地域発展に向けての意見・提言を行いました。

5. 広報ほか

(1) 月刊誌「北陸経済研究」のデジタル発刊

月刊誌「北陸経済研究」は毎月4,500部を定期的に刊行しており、2021年2月25日に発行しました3・4月合併号で491号となります。

なお、3月より月刊誌のデジタル発行を開始し、会員の皆様にはホームページ上から月刊誌過去2年分の全ページをご覧いただけるようになりました。

(2) 年刊「北陸三県会社要覧」

- 2021年版は2,185社（前年2,211社）を収録し1月に3,700部を発行いたしました。
- 掲載用原稿入力にあっては、入力企業の利便性に配慮したWebシステムの利用が846社（前年772社に対し、74社増加）となりました。
- 昨年に引き続きデジタルブックを作成し、賛助会員を対象にホームページ上から閲覧可能としました。

(3) ホームページのリニューアル

ホームページをリニューアルし、以下の機能の追加や情報掲載を開始するなど、内容の充実に努めるとともに、よりいっそうのスピーディーな情報提供とサービス向上に努めました。

- 各種可変バナーの採用や新着情報の充実
- セミナー検索・Web申込み機能の追加
- 新入社員研修やIoT活用推進フォーラムの動画の紹介
- 景気ウォッチャー調査、教えて富山けいざい（北日本新聞掲載）、タイ経済最新情報の掲載を開始。

(4) マスコミへの対応

- 月刊誌「北陸経済研究」を発行の都度、地元紙をはじめ各新聞記者との懇談会を催し、調査担当者がテーマに応じて研究結果を発表いたしました。
- それらの調査研究に関する内容を中心に当研究所に関する記事が 59 回掲載されました。
- マスコミからの取材・質問には 55 回対応し、それらの内容は、テレビニュースや新聞などで報道され、また業界誌などにも掲載されています。ちなみに、日経テレコンの検索結果にみる当研究所の報道件数は 148 件となっています。

年度	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020
件数	92	104	106	133	132	162	170	151	148

テレビ、ラジオへの出演依頼については 25 回対応いたしました。新幹線敦賀延伸、新型コロナウイルス関連などについての出演依頼がありました。マスコミの取材・出演の主なものは以下の通りです。

4 月	石川テレビ 北日本放送 富山テレビ	石川の中期課題について ワンエフ出演 非常事態宣言業種拡大影響について
5 月	石川テレビ 北日本放送 KNB ラジオ 北陸朝日放送 石川テレビ	北陸の経済 富山のしごとくらし入札プレゼン 景気ウォッチャーについて コロナの県内影響について ニュース特番
6 月	日本経済新聞社 北日本新聞 富山テレビ 富山テレビ 富山テレビ	コロナと北陸の飲食業 東京株式市場高値 コロナと県内経済 コロナと県内旅行業 5%還元キャッシュレス終了
7 月	北日本新聞 中日新聞 日本経済新聞社 富山テレビ 富山テレビ チューリップテレビ	小矢部アウトレット開業 5 周年 定例ヒアリング 北陸の産業の成り立ちについて 富山西武跡地開発について 総曲輪ベース及び市街地再開発について 総曲輪ベースについて
8 月	日本経済新聞 日刊産業新聞	福井県に社長が多い理由 新幹線 5 年

9月	北陸中日新聞 KNB ラジオ 北陸朝日放送 石川テレビ	アベノミクス総括 大相撲の懸賞金について 時事コメント ホテル関係コロナ状況
10月	北日本放送 読売新聞 チューリップテレビ	地方放送局の新たな媒体戦略 金沢地域ブランドについて GO TO EAT 富山の状況
11月	富山テレビ 富山テレビ 富山テレビ 北日本放送	富山第一ホテル廃業について アメリカ大統領選後の富山経済 富山経済 ワンエフ出演
12月	中日新聞 北陸朝日放送	ドラッグストアの今後の展開について 景気とキャラクターの関係 (セーラームーン 25周年)
1月	富山新聞 読売新聞 北日本放送 KNB ラジオ 北陸朝日放送 北日本放送	1都3県非常事態宣言について 1都4県非常事態宣言について 富山におけるリカレント教育のコラボ企画 景気の現状と今後の見通し 2021 景気見通し リモート勤務、ニューノーマル
2月	北日本新聞 北陸中日新聞 北日本放送	日経平均3万円 日経平均3万円 富山観光の在り方
3月	北陸中日新聞 北日本新聞 北陸中日新聞 北陸中日新聞 富山新聞 北陸中日新聞 KNB ラジオ NHK	めいてつエムザのヒーローへの譲渡について 富山駅立ち食い蕎麦屋閉店と空港内店舗撤退について 百貨店の再生策について 富山市の活性化政策等について 富山市長選のポイント等 コロナ禍1年 北陸への影響 ドラッグストアの出店競争激化 北陸新幹線金沢開業7年目の課題

(5) 図書

当研究所の所蔵図書数は 26,864 冊となっています。研究所での利用のみならず、賛助会員などの方の利用にも供されております。

また北陸銀行所蔵の企業年史を当研究所に移管し、既存の年史と合わせ計 702 冊のリストを北陸銀行本支店に公開し利用に供する体制も整えました。

(6) 理事会の開催状況

当研究所の理事 7 名による理事会を 6 回開催いたしました。(書面理事会を含む) 議題は以下の通りです。

第 1 回 5 月 28 日

2019 年度事業報告及び決算報告書の承認について
賛助会員規約の改定について
定時評議員会招集及び提出議案の承認について

第 2 回 6 月 29 日

常務理事を選任する件について

第 3 回 9 月 25 日

就業規則を改定する件について

第 4 回 11 月 20 日

顧問の辞任に伴う後任推薦について

第 5 回 1 月 15 日

賛助会費を改定する件について
賛助会員規約を改定する件について

第 6 回 3 月 30 日

2021 年度事業計画及び 2021 年度収支予算案について
各種就業規則等の改定について
人材開発支援助成金支給申請承諾書 の発行手続きについて

2020 年度事業報告附属明細書

2020 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成いたしません。

以 上